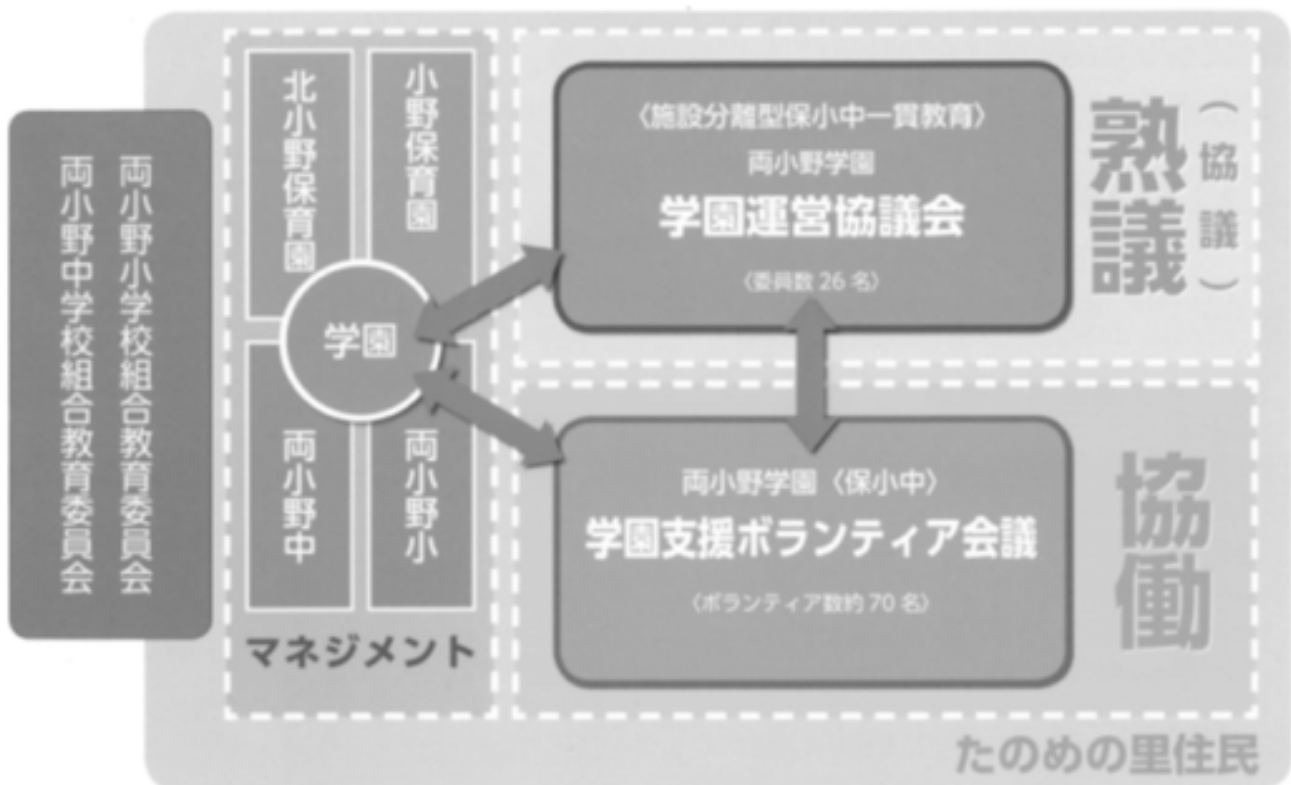


学校教育目標の具現化

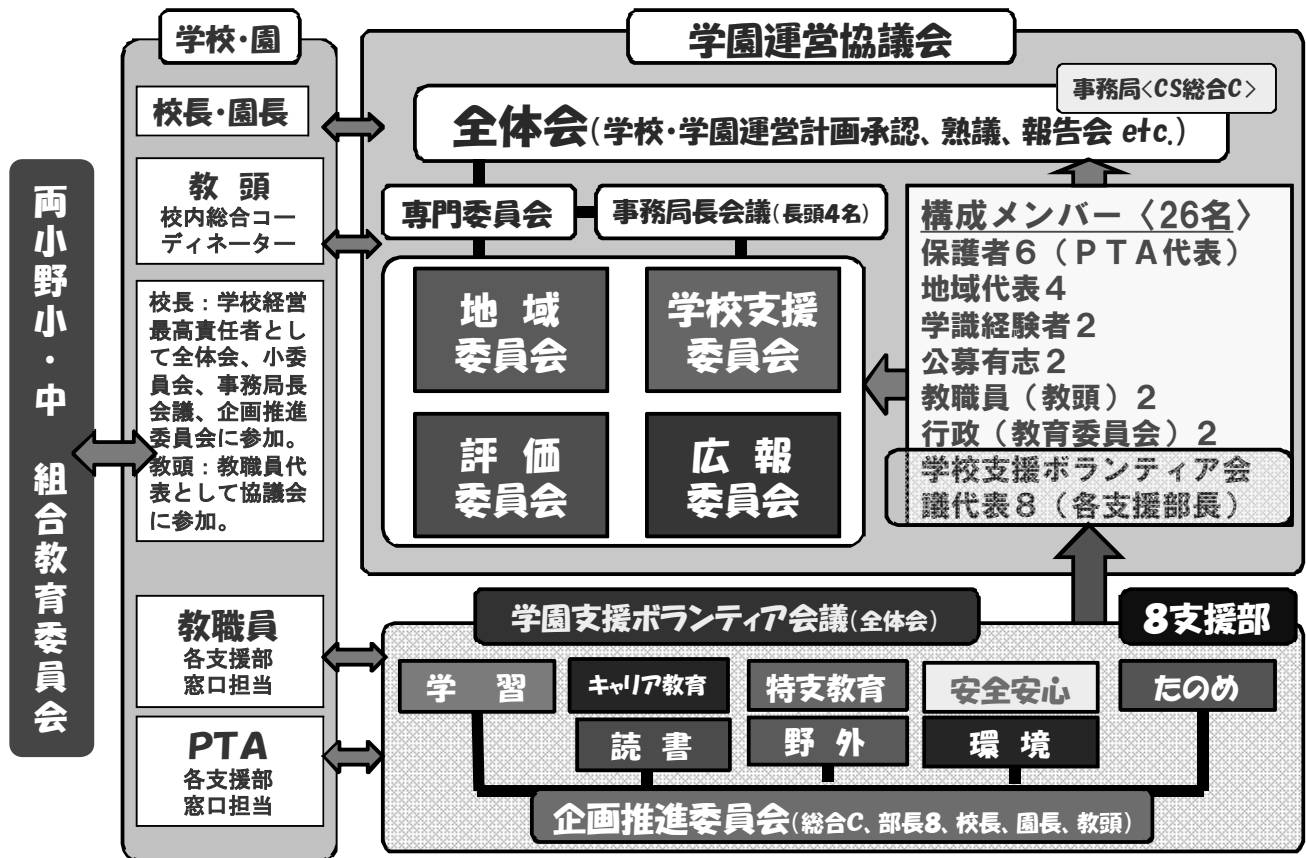
たのめの里に生き、たのめの里を
切り拓く力のある子どもの育成



両小野学園コミュニティ・スクールの仕組み



小中一貫コミュニティ・スクール「両小野学園」 学園運営協議会



第1回 両小野学園運営協議会

平成27年4月15日(水)

全体会



4つの専門委員会で熟議



学園支援委員会



地域委員会



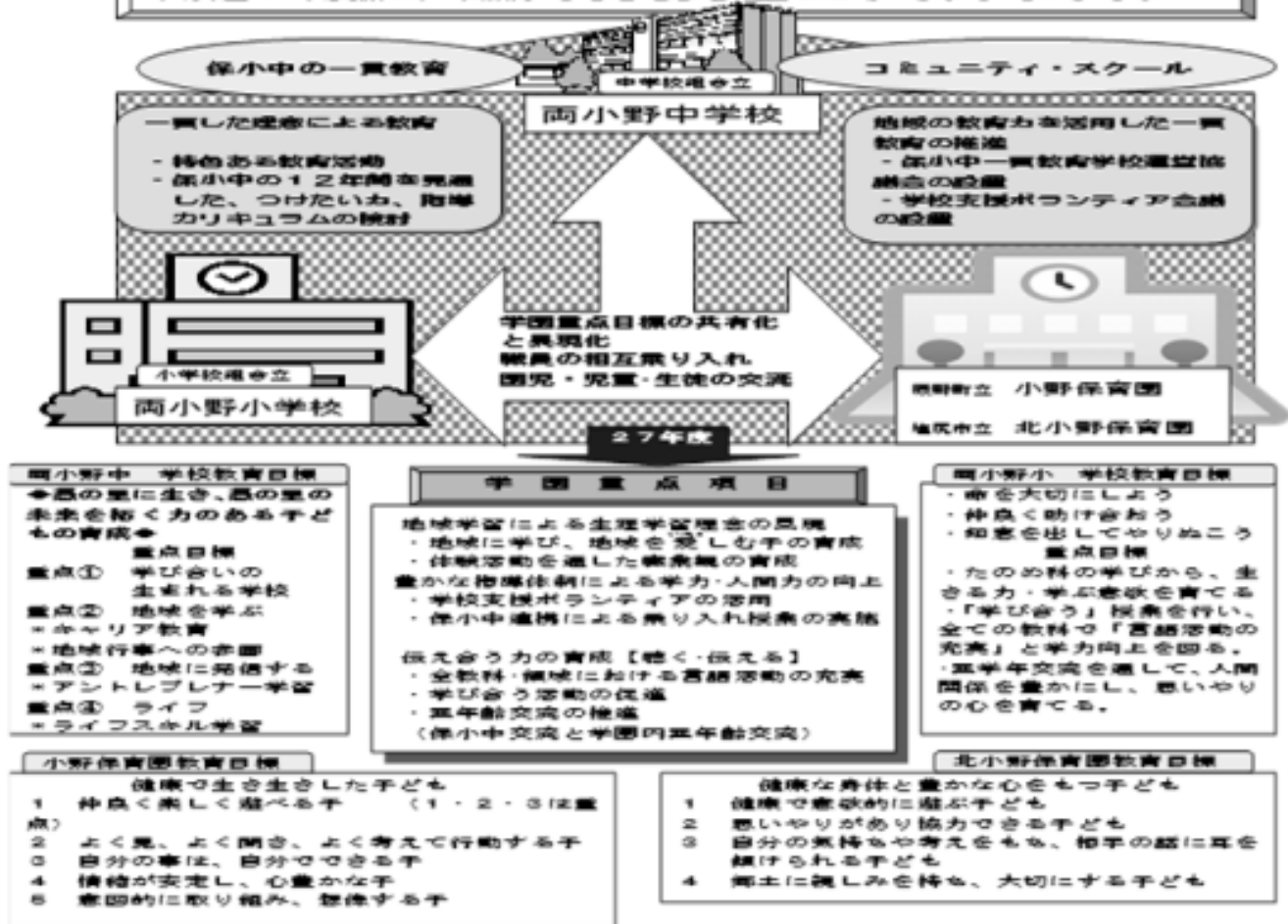
評価委員会



広報委員会

両小野学園の支援活動<学園支援ボランティア会議>





両小野学園 重点指導項目

〈地域学習による生涯学習理念の具現、 社会力の育成〉

- ・ 地域に学び、地域を愛(いつく)しむ子の育成
- ・ 体験活動を通じた職業観・就業観の育成

〈豊かな指導体制による学力・人間力の向上〉

- ・ 学園支援ボランティアの活用
- ・ 保小中連携による乗り入れ授業の実施

〈伝え合う力の育成【聴く・伝える】〉

- ・ 全教科・領域における言語活動の充実
- ・ 学び合う活動の促進
- ・ 異年齢交流の推進

(保小中交流と学園内異年齢交流)

地域の概要



上越市

日本海



両小野小学校と両小野中学校の沿革

昭和22年 筑摩地村
(現北小野)

小学校 中学校

小野村
(現辰野町小野)

小学校 中学校

昭和28年 **組合立中学校**
東筑摩郡の所轄

組合立小学校
上伊那郡の所轄

昭和34年 筑摩地村は塩尻市に併合

昭和36年 小野村は辰野町に併合

**塩尻市辰野町中学校組合立
両小野中学校**

**辰野町塩尻市小学校組合立
両小野小学校**

開校62周年

両小野地区の歴史的な背景と地域の願い

- ◆旧小野村は、もともとは一つだったが、各藩の境界近い位置にあることから、中世末から近世にかけて領地争いが顕在化した。
- ◆松本藩と飯田藩の争いに対して、時の天下人の豊臣秀吉が1591年裁定を下し小野村は二分された。
- ◆その以来、現在も、一つの集落でありながらも、塩尻市北小野と辰野町小野に分かれている。

地域課題の解決策：学校を核に、地域をひとつにまとめる。

小・中一貫 ➡ 保・小・中一貫 ➡ コミュニティ・スクール
H23年度～ H25年度～ (H25-26年度研究) H27年度～



塩尻市立北小野保育園・辰野町立小野保育園 組合立 両小野小学校・中学校



H27年度の学校規模(児童・生徒数)

平成22年度より 小、中学校とも全学年が単級

小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
25	20	30	24	18	31	27	31	28

	小学校児童数	中学校生徒数
小野地区(辰野町)	83	44
北小野地区(塩尻市)	65	42
合計	148	86

一貫教育でめざすもの



一貫教育のシステム

学びの区分の見直し

小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	第7学年	第8学年	第9学年
小学校での生活						中学校での生活		
基盤期						伸長期		
学びの礎期		学びの定着期				学びの向上期		学びの発展期

6年生をつなぎの時期と捉える

保小中一貫教育における特色 10

- ・ 施設分離型の一貫教育
- ・ 特色ある10の教育活動
 - ①12年間を見通したカリキュラムに基づく指導
 - ②地域を題材とした新領域『たのめ科』 〈小学校〉
 - ③一部教科担任制の実施 〈小学校〉
 - ④職員、園児・児童・生徒の交流の推進
 - ⑤両小野学園運営協議会（CS）の設置
 - ⑥学校支援ボランティアの組織化、機能化
 - ・・・等

① 12年間カリキュラムに基づく指導

- ・ 特に小中9年間の学習内容を見直し、つまずき易い学習には十分時間をかけて指導する。（重点化）
- ・ 内容の精選
- ・ 保小中のつながり
- ・ 思考力・判断力
 - ・ 表現力の育成



② 地域学習の充実（小学校「たのめ科」・中学校「総合的な学習の時間」）

- ・ 両小野の自然、歴史・文化、産業、人々の生き方に探究的・体験的・創造的に関わることを通して、両小野の良さに気づき両小野を愛する子を育てる。
- ・ 自己肯定感・自己有用感を育み自己の生き方を見つめ、自らの将来の夢に向けてたくましく生きようとする子の育成を図る。



・ 学習1

地域の良さを発見する学習

- * 自ら課題を見出し、課題を解決する力
- * 自らの考えや願いや思いを伝える力
- * 自然、歴史・文化、産業に関する理解
- * 両小野を愛する心

両小野の一員としての
自覚の高まり

■ 学習2

自分の良さや可能性を発見する学習

- * 人間関係を豊かにする力
- * 情報を精選し活用する力
- * 勤労や職業に関して理解をする力
- * 自ら課題を見出し、課題を解決する力

自己肯定感・自己
有用感の高まり

③ 外国語活動／英語学習の充実



保育園・小学校でもALTを活用



《年間授業時数》

1～2年…12時間

3～4年…24時間

5～6年…35時間

④ 小学校高学年の一部教科担任制

小学6年…中学校登校等により、教科担任制を実施。



⑤ 職員の交流の推進

- ・ 学園職員会議…学校運営全般に関わっての討議。
- ・ 合同研修会・研究会

学園合同授業研究会



学園合同職員会



⑥ 園児・児童・生徒の交流の推進

縦割り活動、奉仕活動、相互の行事への参加等を通して園児・児童・生徒の交流を図る。



地域の美化活動を小中一緒に



保育士体験で園児と交流

⑦ 家庭との連携の推進



⑧ 保育園との連携の推進



職員の保育研修
・保育から学ぶ

⑨ 学園運営協議会CSの設置

《構成メンバー》

- ・学園支援
ボランティア
- ・学識経験者
- ・保護者
- ・地域住民
- ・学校職員
- ・地域の有志



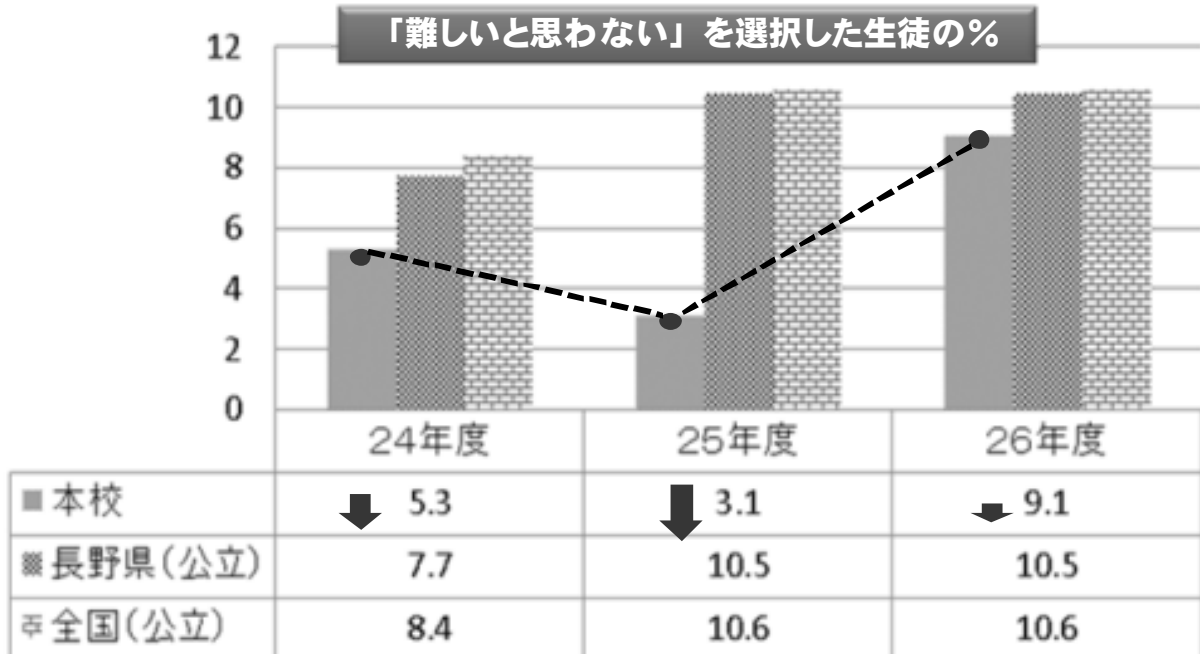
⑩ 学園支援ボランティアの活用



- ・学習
- ・キャリア教育
- ・特別支援教育
- ・安全安心
- ・読書活動
- ・野外活動
- ・ため
- ・環境

課題：自分の考えを他の人に説明したり、文章を書いたりする力の育成

学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章を書いたりすることは難しいと思いますか。



強力に推進する3点

- 熟議（協議）…………… 学校・保育園と地域の人々が、みんなでよく考え、話し合っていくこと
- 協働…………… 同じ目標に向かって、一緒になって活動していくこと
- 学校・保育園のマネジメント …… 校長・園長を中心に、人をつなぎ、学園の組織としての力を上手く引き出すこと

